

PHILIPS

Healthcare



一般社団法人日本心エコー図学会第35回学術集会 ランチョンセミナー01

日時：2024年4月19日（金）11:40～12:40

会場：第1会場 アクリエひめじ

姫路市文化コンベンションセンター2F 大ホール

AI自動化計測がもたらす日常臨床への効果

座長：出雲 昌樹 先生（聖マリアンナ医科大学 循環器内科）

AI自動化計測がもたらす日常臨床への効果 一技師編一

演者：塩川 則子 先生（聖マリアンナ医科大学病院 超音波診療技術部）

自動化計測の日常診療への応用と可能性（医師の立場から）

演者：永田 泰史 先生（産業医科大学 循環器内科・腎臓内科）

共催セミナー（ランチョン）はチケット制です。

配布場所：アクリエひめじ 1F 展示場 A 内「ランチョンセミナー整理券配布所」

配布時間：2024年4月19日（金）8:00～11:10

※チケットはセミナー開始時刻に無効になります。



共催：一般社団法人日本心エコー図学会 第35回学術集会
株式会社フィリップス・ジャパン

セミナーのご紹介

AI自動化計測がもたらす日常臨床への効果



座長

出雲 昌樹 先生

聖マリアンナ医科大学 循環器内科

AI自動化計測がもたらす日常臨床への効果 一技師編一



塩川 則子 先生

聖マリアンナ医科大学病院 超音波診療技術部

心エコー図に関連したAI技術には画像取得や遠隔医療、モバイルヘルスへの応用などがあり、一部は実臨床で使用され始めている。心エコー図検査におけるAIアプリケーションによる自動計測機能は進化が目覚ましく、その使用経験から検査の質の向上、検査の効率化、教育効果の3つの効果が得られると考えている。自動計測の技術進歩により、AIは医療現場で不可欠なツールと変わりつつあり、今後さらにその重要性は増すことと思われる。このランチョンセミナーでは、AI技術による自動計測機能がいかに日常検査を変革するかについて、皆様とともに考えていきたい。

自動化計測の日常診療への応用と可能性（医師の立場から）



永田 泰史 先生

産業医科大学 循環器内科・腎臓内科

近年、日常生活の中にも人工知能（AI）を用いたツールが普及してきており、心エコー図の世界でもAIによる自動化計測が身近になりつつある。AIを用いた自動化計測の精度や計測値の信頼性はメーカーや研究者の不断努力により日々向上し、自動化計測は心エコー検査室のルーチン検査として利用されるようになった。自動化計測には、検査時間の短縮以外に検者間誤差の減少やバイアスのない計測といった恩恵がある一方で、自動化計測によって得られたパラメータが実臨床においてどのような効果をもたらすのか実感しにくい。本セッションでは、自動化計測で得られたLVEFやGLSなどのストレインパラメータが、臨床経過を予測できるのか、日々の臨床にどのように応用できるのか、研究データとともにその可能性を議論したい。

